

クリチバ市グアビロトゥーバ地区において強盗未遂事件が発生したとの情報を入手しましたので、概要を以下のとおりお知らせ致します。

1. 10月7日17時頃、クリチバ市グアビロトゥーバ地区の在留邦人が自宅前の草むしりをしていたところ、フード付きパーカーを着て、キャップを被った3人組（15～6才とみられた由）に近づかれ、同3人組の1人が同邦人の腕を掴み拳銃を突きつけ、自分たち（同3人組）が強盗であることを告げた。

2. 邦人は掴まれていた腕を振り払い、自宅敷地内に逃げ込み門を閉めた。直後に同邦人は軍警察に通報したところ、それを見た同3人組はその場所より逃走したため、邦人には身体、金品ともに被害はなかった。

3. その場に出くわした隣人によると、3人組には黒いハッチバック車（ワーゲンgol）が近くに待機していたので、同車が犯人の逃走用に用意されていたのではないかの由。

<当館からのお願い>

・今回の事件では事なきを得ましたが、強盗事件では犯人が拳銃等の武器を持っている場合、その場からの急な逃走や闇雲な抵抗など犯人の想定外の動きをすることは非常に危険です。こういった事件では場合により対応は異なってきますが、事件に遭遇した場合は一呼吸置き、生命の確保を最優先に考えて行動してください。

・万が一強盗被害に遭われた場合は、速やかに軍警察（Policia Militar、電話190）に一報するとともに、被害届を最寄りの文民警察（Policia Civil、電話197）に提出することが大切であるとのこと。

・また、被害拡大防止のため、在留邦人等の皆様と（個人情報伏せた上）情報を共有するためにも当館（警備班・領事班）へご連絡いただければ幸いです。